

科目名	専門演習Ⅲ Seminar Ⅲ						
科目担当者	松野 民雄 MATSUNO Tamio						
単位数	4	配当年次	4 年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	この授業では、これまでの学修を踏まえて、各自が卒業論文のテーマを検討して、自己が設定したテーマに沿って、卒業論文の完成を目指します。具体的には、まず、各自で、個別のテーマに関する調査・検討をしてもらいます。そして、授業時に個別報告をしてもらい、受講者全員でのディスカッションを通じて、理解を深めてゆきたいと考えています。この授業は、卒業論文を作成するためと、議論の進め方を修得するために行います。						
授業の到達目標	この授業では、以下のことを到達目標とします。 ① 現代的な課題の中から、卒業論文としての適切なテーマを設定できる。 ② 自己が設定したテーマに関連する法律の内容を理解し、法的思考力（リーガルマインド）の基礎を修得することができている。 ③ 形式が整ったしっかりした卒業論文を完成させることができる。						
授業計画・内容	1	ガイダンス（前期授業の進め方、授業の概要）			16	ガイダンス（前期授業の進め方、授業の概要）	
	2	卒業論文作成上の注意点			17	卒業論文作成上の注意点	
	3	個別報告とディスカッション①			18	個別報告とディスカッション①	
	4	個別報告とディスカッション②			19	個別報告とディスカッション②	
	5	個別報告とディスカッション③			20	個別報告とディスカッション③	
	6	個別報告とディスカッション④			21	個別報告とディスカッション④	
	7	個別報告とディスカッション⑤			22	個別報告とディスカッション⑤	
	8	個別報告とディスカッション⑥			23	個別報告とディスカッション⑥	
	9	個別報告とディスカッション⑦			24	個別報告とディスカッション⑦	
	10	個別報告とディスカッション⑧			25	個別報告とディスカッション⑧	
	11	個別報告とディスカッション⑨			26	個別報告とディスカッション⑨	
	12	個別報告とディスカッション⑩			27	個別報告とディスカッション⑩	
	13	個別報告とディスカッション⑪			28	個別報告とディスカッション⑪	
	14	個別報告とディスカッション⑫			29	個別報告とディスカッション⑫	
	15	前期のまとめ			30	後期のまとめ	
授業外学修 (事前学修)	報告者は、4 時間程度、文献検索等により報告の準備をし、レジメを作成し、報告内容を十分に検討しておくこと。 報告者でない者は、2 時間程度、報告が予定されている個別テーマについて調査しておくことが望ましい。						
授業外学修 (事後学修)	報告者は、10 時間程度、報告内容について、授業時のディスカッションを踏まえて、追加調査をし、卒業論文作成の準備を進めておくこと。 報告者でない者は、2 時間程度、授業時のディスカッションを踏まえて、報告者が報告した内容を確認し、自己の知識として確実なものにしておくこと。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	授業への出席(3 分の 2 以上)が、当然の前提となる。 担当項目に関する調査・報告 授業での議論への参加 卒業論文の提出				20 % 20 % 60 %		①②③ ①②③ ①②③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	統一的な教科書は指定しない。						
参考文献	授業時に指示する。						
その他	自己の卒業論文の作成と授業時における議論への参加について、積極的に取り組むことを期待している。						